



世界中の
ものづくりの
課題解決屋になる。

2026年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2025年8月8日（金）

リックス株式会社：証券コード：7525（東証プライム・福証）

RIX リックス株式会社

Point 01

利益が減少した自動車セグメントの 要因と今後の見通しについて

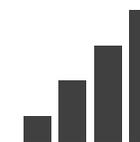


自動車セグメントの利益が大きく減少した要因は、オリジナル品の販売減少によるもの。
当期1Qでは米国関税の影響はおよんでいない。

当期2Q以降はオリジナル品の販売増加も見込んでおり、通期では同セグメントは前期と同水準の売上・利益を見込む。

Point 02

成長投資に関わる 販管費の増加で利益押し下げ



当社として更なる成長を目指すにあたり、昨年11月に[※]新研究開発施設を開所。その減価償却費などの影響で営業利益を押し下げた。

また、老朽化による本社移転の費用も影響。旧本社土地の活用については検討中。

※リックス協創センター

売上・営業利益・経常利益・四半期純利益とも前年同期比で減少

FY2025 1Q 決算概要

- 売上は前年同期比並みを確保するも、利益面はいずれも減少
- 営業利益の減少は販管費の増加や自動車セグメントの利益減少が響いた
- 経常利益は為替差損の影響（前期1Qは為替差益）により前年同期比で減少

売上高

12,340百万円

▲0.2%

営業利益

639百万円

▲19.2%

経常利益

730百万円

▲26.0%

親会社株主に帰属する
四半期純利益

502百万円

▲12.5%

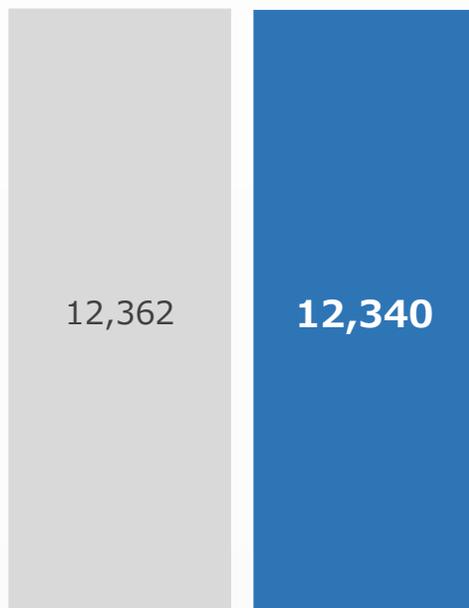
%はいずれも前年同期比

売上高は前年同期比並みを確保したものの

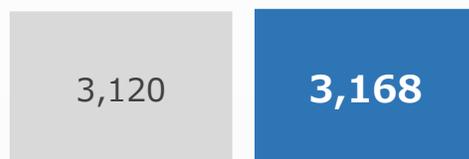
※オリジナル品の販売減少や販管費の増加により利益面は前年同期比で減少

売上高

単位：百万円



売上総利益



営業利益



経常利益



■ FY2024 1Q ■ FY2025 1Q

- 売上高は前年同期比▲0.2%と一定の水準を確保。
- リックス協創センター稼働開始に伴う減価償却費や、本社移転費用などで**販管費が前年同期比で約+200百万円**となり、営業利益を押し下げた。
- 経常利益は、前期1Qでは為替差益が発生していたが、**当期1Qは為替差損に振れた影響**を受け減少。(為替差損益(▲は損)：前期1Q 96百万円、当期1Q ▲25百万円)

※オリジナル品：自社製品、グループ会社製品、専売仕入品など当社のみが取扱できる商材の総称

オリジナル品の販売が多い電子・半導体や工作機械の復調はあったが
自動車の利益減少が大きく響いた

セグメント別売上高

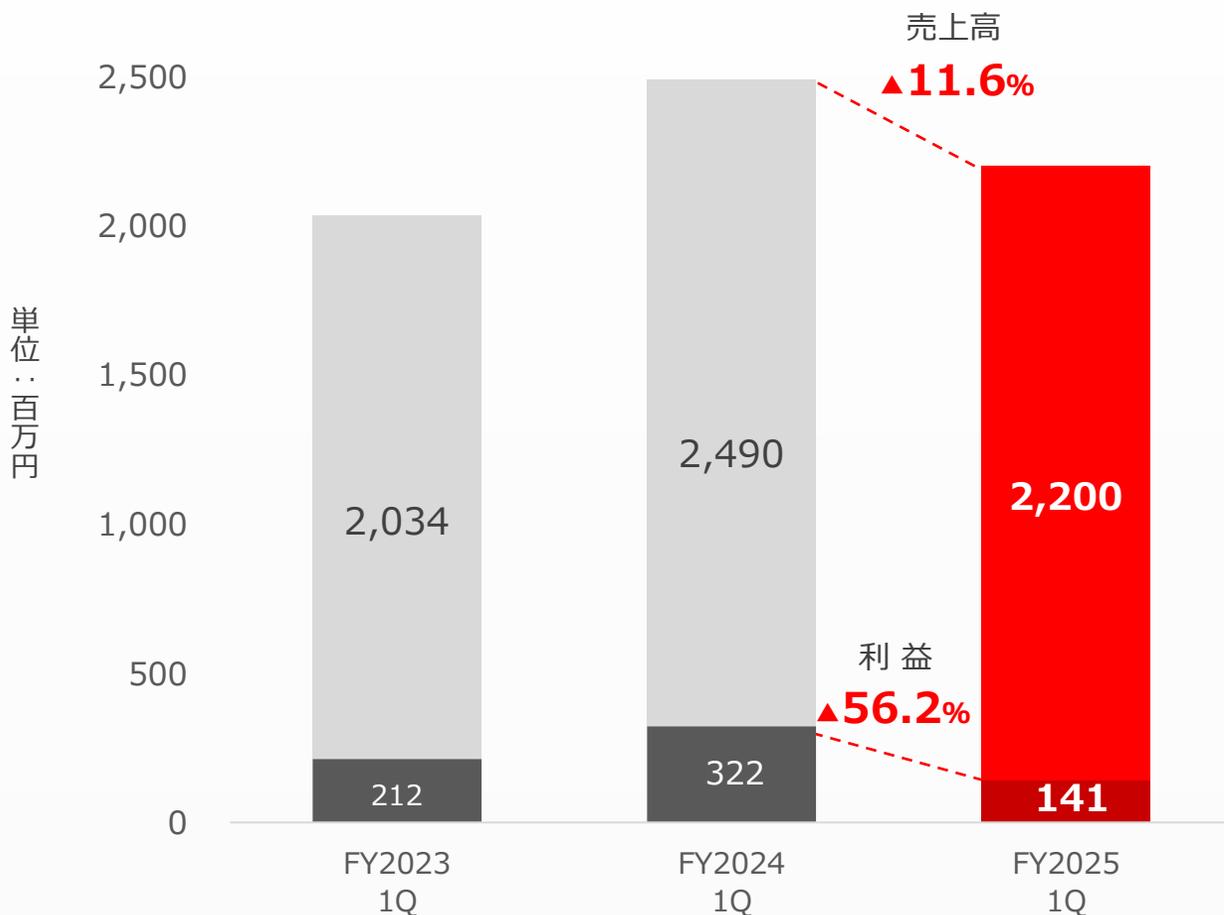
単位：百万円	FY2024 1Q	FY2025 1Q	前年 同期比
鉄 鋼	3,722	3,847	+3.4%
自動車	2,490	2,200	▲11.6%
電子・半導体	1,627	1,713	+5.3%
ゴム・タイヤ	743	1,074	+44.6%
工作機械	554	567	+2.3%
高機能材	589	505	▲14.2%
環 境	688	486	▲29.3%
紙パルプ ^o	220	242	+9.6%
その他	1,723	1,701	▲1.3%
合 計	12,362	12,340	▲0.2%

セグメント別利益

単位：百万円	FY2024 1Q	FY2025 1Q	前年 同期比
鉄 鋼	465	464	▲0.1%
自動車	322	141	▲56.2%
電子・半導体	152	176	+15.9%
ゴム・タイヤ	88	115	+29.9%
工作機械	102	120	+17.6%
高機能材	51	47	▲7.7%
環 境	50	31	▲36.8%
紙パルプ ^o	23	25	+9.8%
その他	215	279	+29.7%
合 計	1,472	1,403	▲4.7%

自動車セグメントの売上・利益減少は米国関税の影響は受けておらず 通期では前期と同水準を見込む

自動車セグメント 売上高・利益推移



利益減少要因

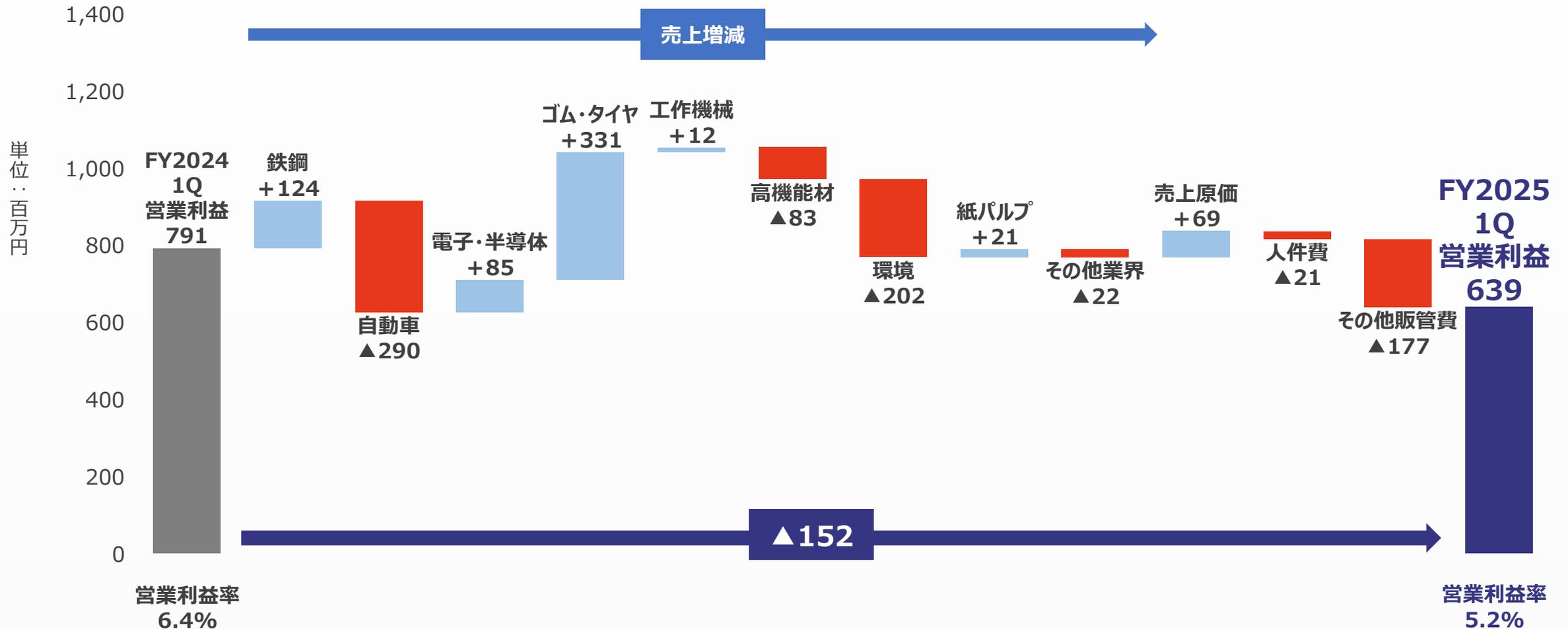
- 前期に活況だったオリジナル品（装置類）の販売が減少したため。
- 電気・ハイブリッド自動車（EV・HEV）の普及が世界的に減速傾向にあり、前年同期に比べ取引先の電池・モーター関連設備投資が停滞した影響を受けたかたちとなった。

今後の見通し

2Q以降にかけてオリジナル品の販売増加を見込んでおり、同セグメントは通期では売上・利益とも前期と同水準を見込む

営業利益増減要因 (FY2025 1Q)

- 半数以上のセグメントは前年同期比を上回るも、自動車・環境で利益が大きく減少
- リックス協創センター稼働開始や本社移転などにより、販管費が増加（前年同期比+約200百万円）し利益を押し下げた



- 売上高570億円、営業利益39.9億円、当期純利益28.5億円といずれも**過去最高を予想**。
- 円高傾向による為替差損を織り込んでおり、経常利益は前期比マイナス予想（※為替レートは1ドル＝143円を想定）
- **不透明な「米国関税」の影響は業績に織り込んでいない。**

単位：百万円	FY2024	FY2025 予想	増減額	増減率	構成比
売上高	54,727	57,000	+2,272	+4.2%	100.0%
売上総利益	13,592	14,480	+887	+6.5%	25.4%
販管費	9,710	10,490	+779	+8.0%	18.4%
営業利益	3,882	3,990	+107	+2.8%	7.0%
経常利益	4,197	4,080	▲117	▲2.8%	7.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,841	2,850	+8	+0.3%	5.0%

前提

- 当社業績予想は「受注動向」や「過去統計」をもとに策定
- 当社販売品は、生産比例品ではなく「生産設備・機器」がメインのため、短期的には粗鋼生産量や自動車生産台数に影響を受けにくい傾向がある。
- 当社の業績動向は、主要業界の業績動向の半年～1年ほど遅れる傾向がある。
- 今期、米国関税の影響で顧客の設備投資意欲がどう変化するか見通せず、予想には織り込んでいない。

FY2025上期について

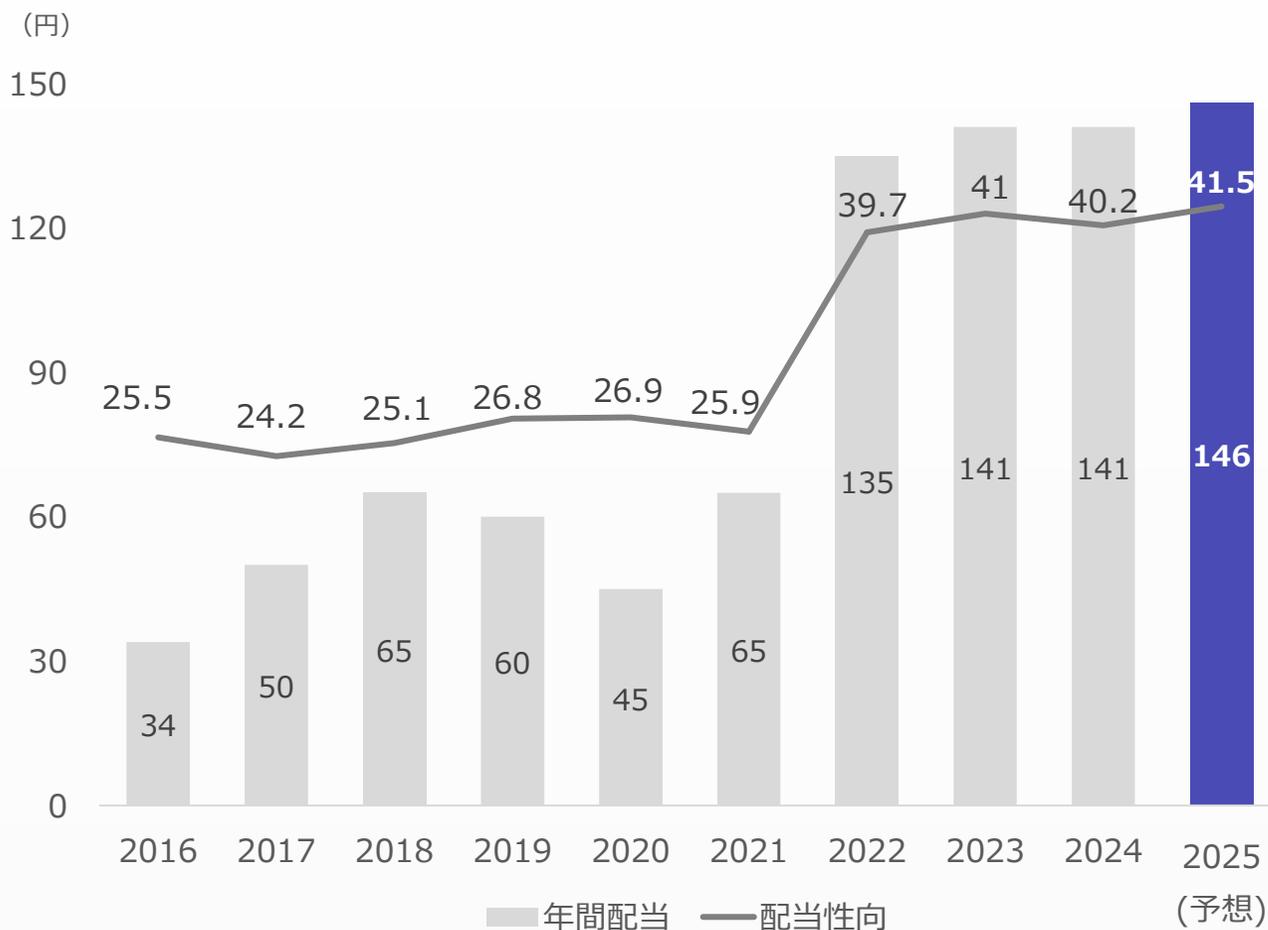
FY2025上期の売上は、FY2024下期の受注がメイン。比較的順調に推移

FY2025下期について

米国関税の影響による、FY2025上期の「顧客設備投資意欲の変化」と「当社受注動向」を注視

- 2025年度は1株あたり146円を予想（前期より5円増配）
- これまでの連結配当性向40%に加え、2025年度よりDOE4.5%を導入

配当/配当性向 推移



株主優待

割当基準日	3月31日
優待内容	クオカード1,000円分 (100株以上300株未満)
	クオカード2,000円分 (300株以上500株未満)
	クオカード3,000円分 (500株以上1,000株未満)
	クオカード4,000円分 (1,000株以上10,000株未満)
	クオカード10,000円分 (10,000株以上)